魔法の言葉 プロジェクト　成果報告会

２０１８．１．２０

自分を取り囲む新しい事柄を理解するために

「　がっこうって どんなとこ？　」

～画像で伝え合おう～

大阪府立寝屋川支援学校　小学部　一年担任　　日置節子





大阪府立寝屋川支援学校

◉知的障がい

◉小・中・高等部

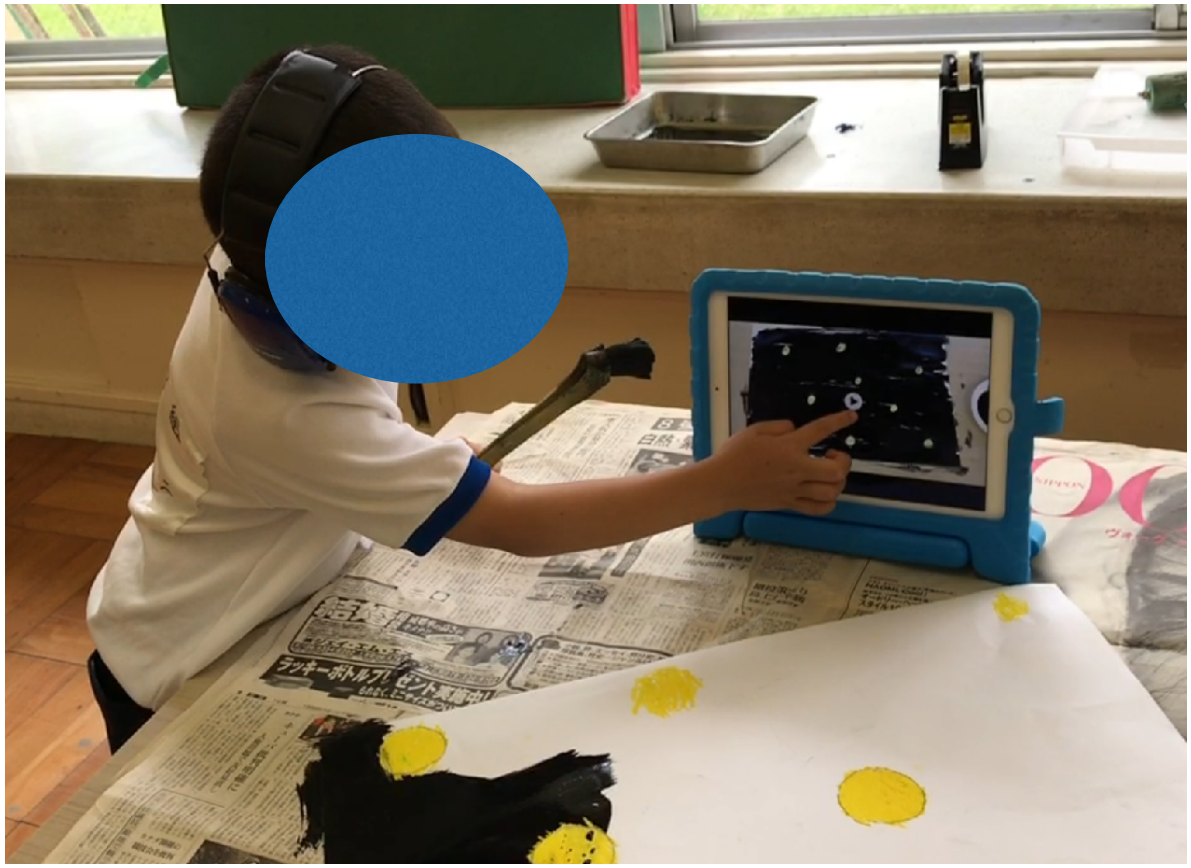
◉児童生徒数　３４２名

小学部：１０８名　　１年生：２４名

◉通学範囲

寝屋川市、大東市、四條畷市 、門真市

対象児：Kくん　４月に入学した１年生



◉知的障害を伴う
　　自閉スペクトラム症
◉ADHD
◉聴覚過敏
（イヤマフ使用）

◉お気に入りの遊びに集中したり、見たり聞いたりして楽しんだりできる
◉慣れた場所で親しい人と２語文で要求を伝えることができる
◉友だちを意識して、同じように行動したいという気持ちがある

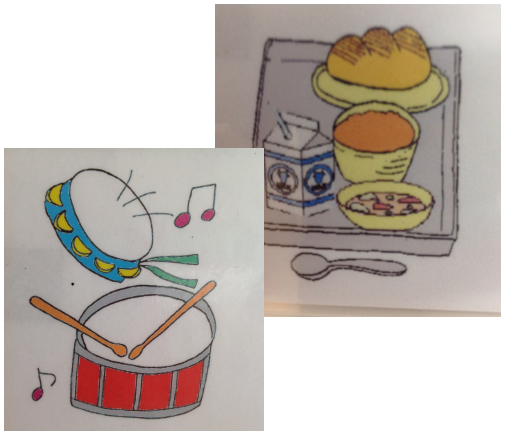
取り巻く環境には、たくさんの変化があった



友だち・先生



教室・場所



学習活動





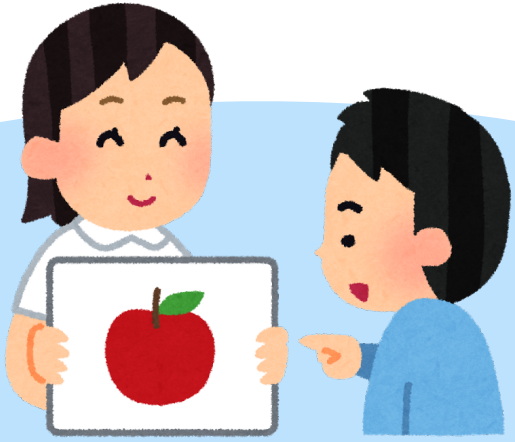
行事

保育園からの引き継ぎ



◉いつもと違う雰囲気が苦手

◉集団での活動は部分的



見てわかるシンボルやイラストを使った
やりとりが理解しやすい

学校の中で出会う新しい事柄も、シンボルで伝え合えるようになりたい！



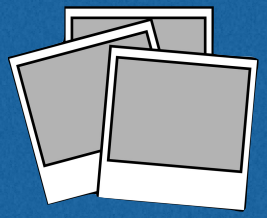
なかにわ



ゆうぎしつ

体験

はっきりとした
イメージ



「なかにわ、いく！」



好みの事柄を見つけ、体験を繰り返すことで、新しい遊び場を
写真シンボルや、言葉でやり取りできるようになりました。

クラスの子どもたちの中でも特に不安が強い様子

５月に入っても、不安で仕方がないことが・・・

学年集団での活動

・友達が集まってくると、教室内のトイレに隠れる

・教室移動中に、しゃがみこむ

・授業の間中、廊下に座っている

どこに行くの？



何をするの？

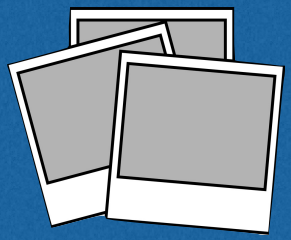
「だめ～！」

（完全拒否）

学年集団での活動



学年集団での活動
内容へのイメージがない



体験する

場に入る

見る

初体験の活動に、イメージを持つための手段がみつからなかった。

学年集団での活動



なぜ教室に入れないほど不安になるの？



音の反響



指示の
分かりにくさ



思いの
伝わりにくさ

・室内に学年集団が集まると、２３名の友だちそれぞれの声が響き合う
・全クラス（５クラス）が集まると、学年の先生の数は１０名に増える

Kくんの不安を軽減するために
どうすればいいだろう？

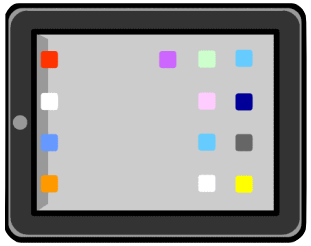


「事前に」

「繰り返し」

「イメージ」

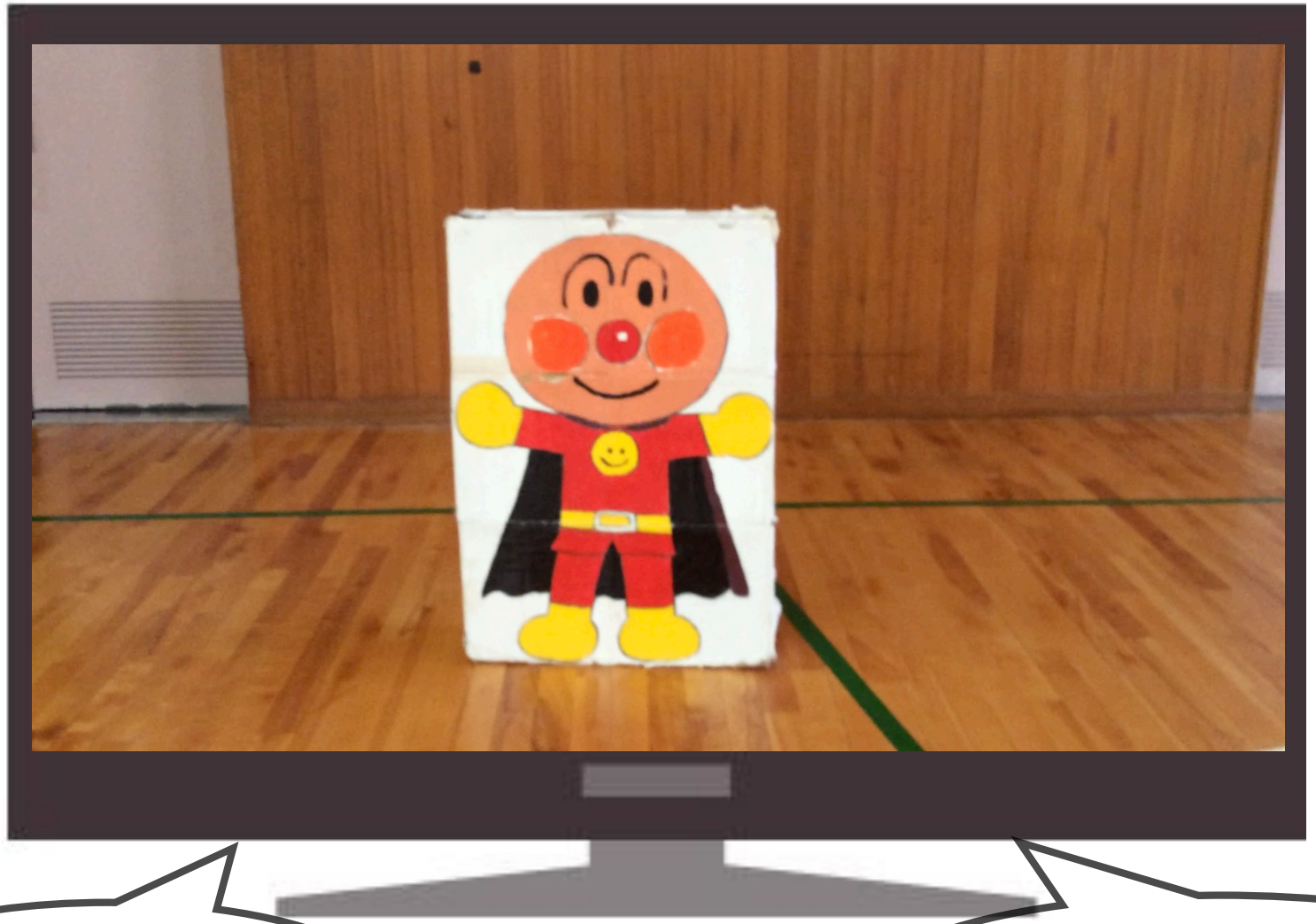
を伝えよう



動画

５月初旬　初めての体育（学年）の授業

動画を事前に確認してから教室を出発



ここが体育館です

マトをパンチして倒します

授業の始めから入り口でしゃがんでいるKくん。ドアを閉じて、中の様子を見れません
授業の様子を担任が動画で撮影して、一緒に見て見ることに



担任：「お友だち、集まってるよ」
Kくん：「だめ…」
（動画を見ている）



担任：「ばいきんまんが来たよ」
Kくん：「・・・・」
担任：「Kくんの番がきたら、
パンチをしようね」
Kくん「・・・」（動画を見ている）

しばらくたって…

Kくん：すくっと立って自分からクラスの列に入っていき…



担任：「Kくんすごい！頑張ったね」





Kくんの行動：自分のパンチ動画を何度も見返す

「やりたかったことができて、嬉しい」

Kくんは、

◉やることを把握した

◉自分のできる方法で活動に参加した

◉まだ難しいことは外に出ることで回避した

Kくんのその後の変化

◉以後の体育は回を重ねるごとに参加場面が増える



体験

できた喜び

学年集団活動

場所　内容

はっきりとした

イメージ

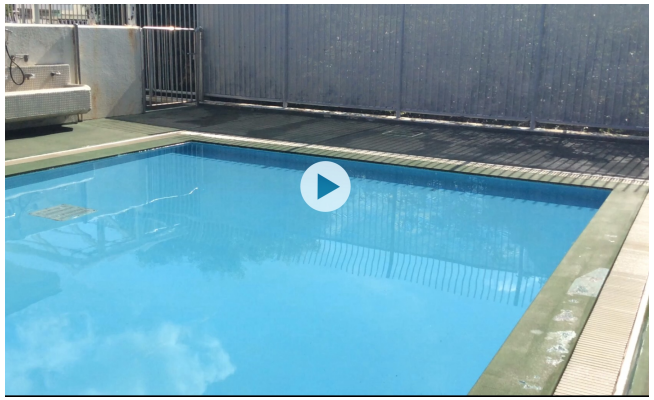
動画が伝えた情報が

体験への「一歩」を後押しした

◉他の活動でも「○○の次は、これがあるから、これだけはやってみよう」という約束ができることが増えてくる　（やることを把握　→　できる方法での参加）

Kくんの体験を後押しした動画（抜粋）

●内容　※場所　■集団の様子



●※プール



●■マト倒し（学年集団）



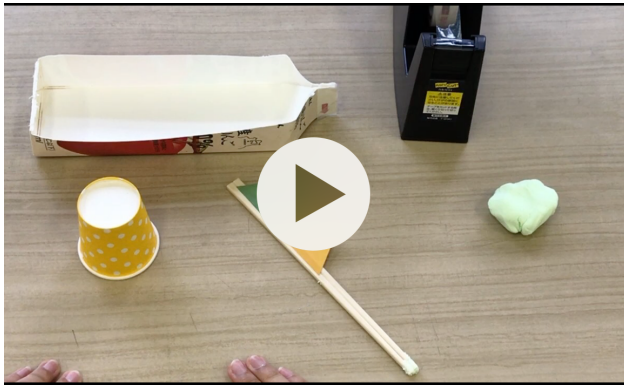
※音楽室



※散歩の目的地



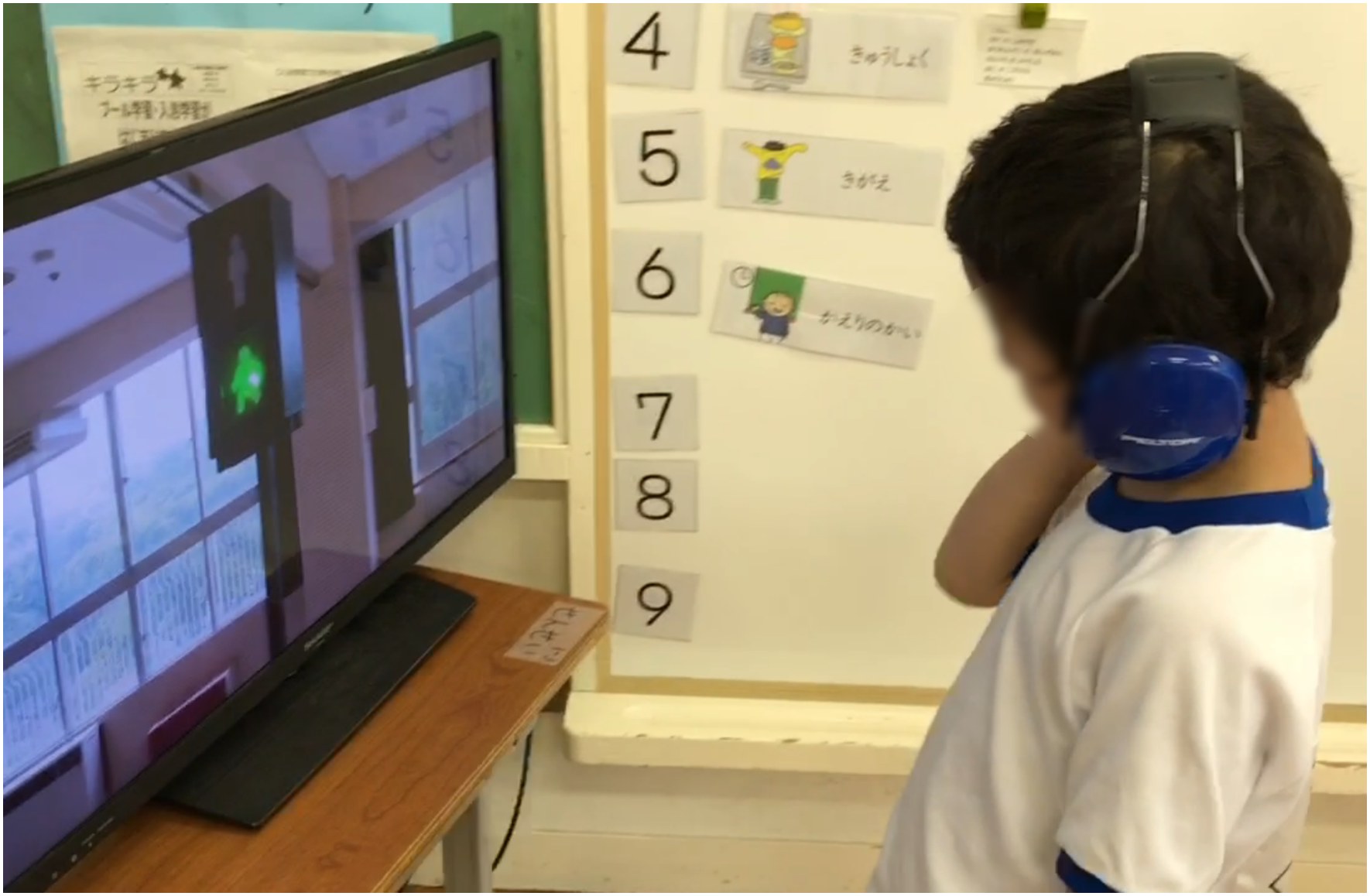
●■つながりダンス（学部集会）



●船作り（図工）

動画の長さ：１分程度の短いもの

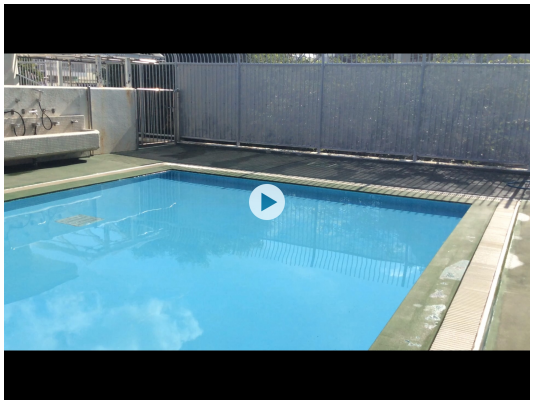
動画の視点：レンズをKくんの視点にした主観的なビデオ



今から向かう交通安全学習の動画を事前に視聴

視聴の対象：Kくん、クラス全体
視聴時間：朝の会、帰りの会、授業直前、授業中、家庭
動画の操作：Kくん、担任

◉動画からシンボル・言葉へ、伝え合う手段の広がり



プールの動画

言葉を聞く



体験する

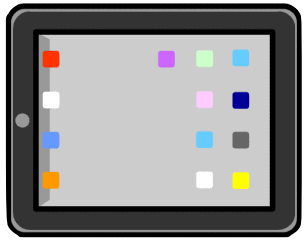




シンボル



言葉



実際に体験を重ねてシンボルや言葉を理解していく

Kくんの変化と現在の集団参加の様子

学年集団での活動



・クラスでの生活場面、小グループの授業（図工など）
自分から活動に取り組むことが増えた。

◉理解ができる言葉、伝える言葉の増加

なじみの人

・クラスの友達
・先生

好きな場所

・中庭
・遊戯室



学習活動

・教科の名前
・ダンスの曲名
・絵本の名前

好きな遊び

・「まてまて、する」
・「おとととと、する」
・「○○見ます」

当番活動

・「おしごと、します」
・「おぼんはこび」

学校の場所

・体育館
・グランド
・プール
・公園

◉興味のある言葉、関わりの深い文字をおぼえよう

（９月からの取り組み）

（アプリ）Bitsboard

選択した画像、録音音声、文字、からなる複数のBitsを使って「マッチング」「フラッシュカード」等、言葉に関する問題を即座に作成できる





・好きな数種のキャラクターのBitsからスタート

・学校の場所、活動の様子、食べ物などを加えていった

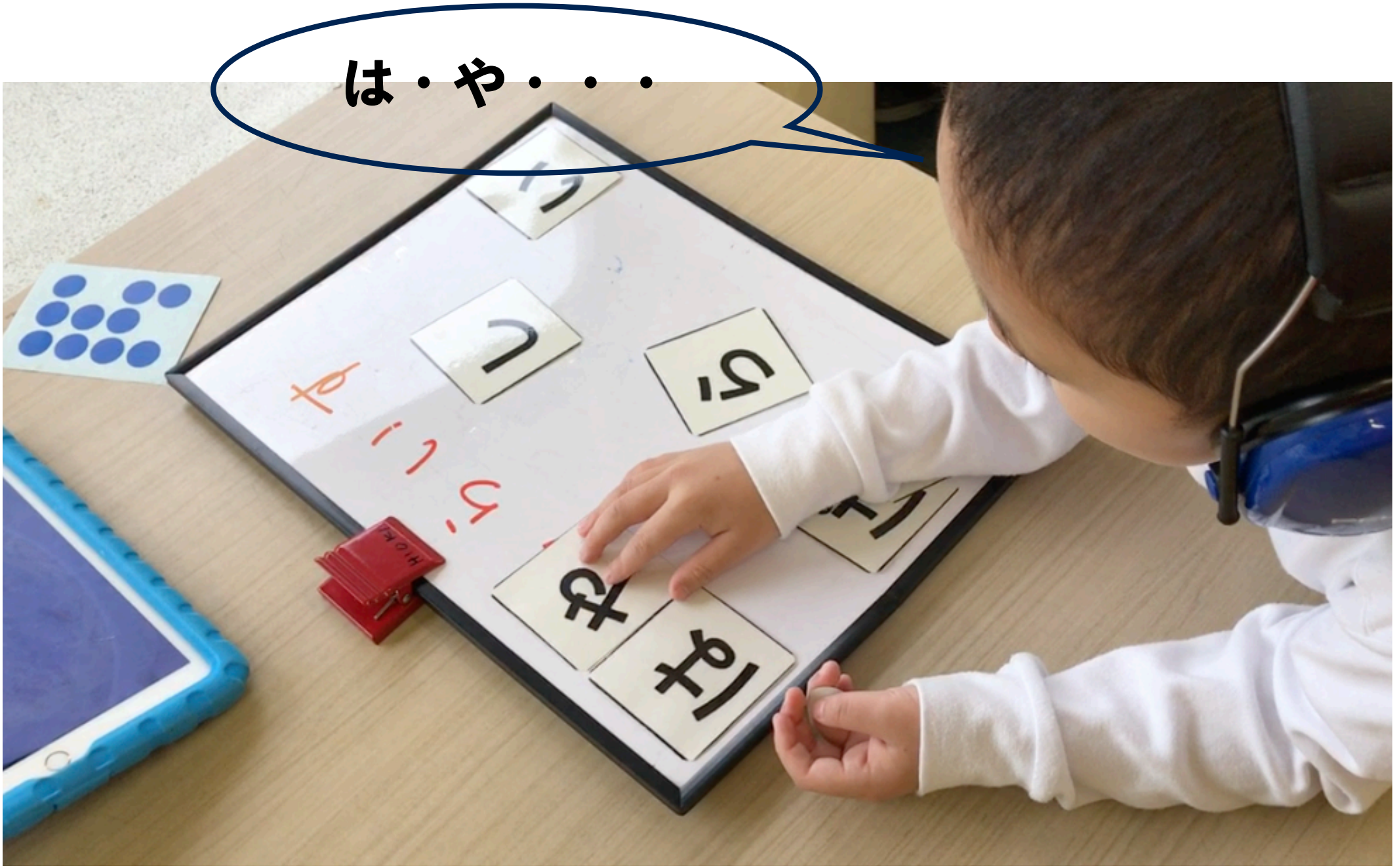
・家庭でも繰り返し取り組んだ（保護者より）

Bitsboard（アプリ）でことばの学習



ヒントの文字の形を確かめながら、一文字ずつのマッチングをする

今日の給食の献立を文字（ひらがな）で確かめよう



ひらがな一文字ずつのマッチングと拾い読み



「帰りの会」で自分からシンボルを指差ししながら言葉を話す

「かずことば」などの教科名を覚えて、文字を一文字ずつ拾い読みする

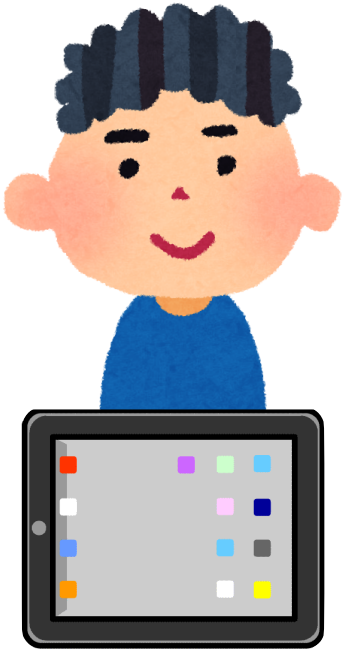
◉読んで理解することができる言葉の増加

１２月

「あした、がっこう　あります。

あした、〇〇します。」

イメージづくり
言葉の理解



＜集団参加＞
活動内容を理解
自分で行動

画像の活用を継続していきたい

ありがとうございました。